



2023年2月20日

各位

会社名 株式会社めぶきフィナンシャルグループ
代表者名 取締役社長 秋野 哲也
(コード番号：7167 プライム)
問合せ先 経営企画部統括部長 小野瀬 真一
(TEL. 029-300-2605)

2023年3月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

株式会社めぶきフィナンシャルグループ（取締役社長 秋野 哲也）は、2023年2月20日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表した連結業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、2023年3月期の期末配当は、当初の配当予想どおり1株あたり5.5円（中間配当と合わせて年間11円）をお支払いする予定です。

記

1. 業績予想の修正

	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	65,000 百万円	45,000 百万円	41 円 82 銭
今回修正予想（B）	43,000 百万円	30,000 百万円	27 円 88 銭
増減額（B－A）	△22,000 百万円	△15,000 百万円	
増減率（%）	△33.8	△33.3	
（参考）前期実績 （2022年3月期）	64,992 百万円	42,958 百万円	38 円 96 銭

2. 修正の理由

2023年3月期下半期の有価証券運用において、外国債券および国内債券のポートフォリオ再構築を進めております。既に第3四半期決算において一部損失を計上しておりますが、第4四半期においても取り組みを継続予定であり、現時点の損失見込みを考慮した結果、2023年3月期通期業績予想値の修正を行うものです。

なお、第3四半期決算においてコア業務純益は前年同期比増益となるなど、ポートフォリオ再構築に伴う損失を除いた業績は概ね予想どおり推移しております。

現在の第3次グループ中期経営計画においては、「伝統的銀行サービスの革新」、「総合金融サービスの深化」、「事業領域拡大への挑戦」を通じた役務取引等利益や貸出金利息の増強に加え、DXの推進による業務効率化等により安定的な収益構造への転換を進めております。今般、有価証券が

ートフォリオの再構築を進めることにより、来年度以降の期間損益の改善と着実な成長を目指すことが可能となります。

(注) 本資料に記載されている業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【ご参考】2023年3月（通期）の子銀行（単体）業績見込み

（単位：億円）

	銀行単体合算					
			株式会社常陽銀行		株式会社足利銀行	
		前回予想比		前回予想比		前回予想比
経常利益	429	△196	285	△100	144	△96
当期純利益	420	△10	(注) 320	+60	100	△70

(注) 株式会社常陽銀行の当期純利益には、2023年1月30日付取締役会で決議したグループ内保証会社の異動に伴う常陽信用保証株式会社からの受取配当金120億円（特別利益に計上）が含まれております。なお、上記受取配当金は連結決算において消去されるため、当社の連結業績への影響はありません。

以 上